

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
平成14年3月11日 第48報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	40		
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	10		
(黄鞭) <i>Chromulina sp.</i>	20		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	10		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	820		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	12		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	190		
(珪) <i>Synedra acus</i>	7		
(珪) <i>Cymbella ventricosa</i>	10		
(珪) <i>Navicula sp.</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	100		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	80		
(緑) <i>Chlamydomonas sp.</i>	10		
(緑) <i>Golenkinia radiata</i>	20		
(緑) <i>Dictyosphaerium subsolitarium</i>	100		
(緑) <i>Closterium aciculare var. subprorum</i>	3		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	80	5.5	7.9
(珪) 珪藻綱	1049	72.7	54.6
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	180	12.5	30.4
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	133	9.2	7.1
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	1442	総体積	
種類数	16	( $\mu\text{m}^3$ )	6.05E+05

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし\*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種

数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

## 動物プランクトン

第1優占種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Polyarthra vulgaris</i>	320

第2優占種	個体数 (個体/l)
繊毛虫類 <i>Tintinnidium fluviatile</i>	280

\*個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

### 植物プランクトン第1優占種



***Cyclotella glomerata***  
(ヒメマルケイソウ)  
珪藻綱

殻面は円形で、その直径は4~10 $\mu\text{m}$ と小さい。  
多数が鎖状に結合して群体をなす。

### 動物プランクトン第1優占種



***Polyarthra vulgaris***  
(ハネウデワムシ)  
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。  
前部に2本の触角がある。

### コメント:

植物プランクトンでは、珪藻に属するヒメマルケイソウやホシガタケイソウが多く見られた。動物プランクトンでは、輪虫類に属するハネウデワムシや繊毛虫類に属するフデツツカラムシが多く見られた。プランクトン量は徐々に増加傾向にある。